

学校教育学研究科の基本方針（教育実践探究専攻共通）

【学位授与の方針】

学校教育学研究科教育実践探究専攻では、現代的な学力の育成、多様な教育ニーズへの対応、今日的な学校運営の充実という3つの教育課題に応じて、高度な専門性と実践的な指導力を備えた、学校変革を担うリーダー教員、及び学校教育課題を的確に把握できる新人教員の養成を目的としている。

目的に応じて、以下の学習成果の達成を学位授与の方針とする。

- ① 今日的な教育課題の探究を継続的に行うことができる資質・能力。
- ② 今日的な教育課題の探究に必要なとする理論的な考察を行う資質・能力。
- ③ 今日的な教育課題の探究に必要なとする実践を新たに試みる資質・能力。

【教育課程編成・実施の方針】

1) 教育課程の編成

学位授与の方針①～③の達成のために、第1に「課題探究」、第2に「理論と実践の往還」の2つをカリキュラム原理とし、以下の授業科目によって、教育課程を編成する。

- ① 課題探究の具体化のために「目標設定確認科目」、及び「目標達成確認科目」を配置する。
- ② 理論的な考察のために「共通必修科目」を配置する。
- ③ 新たな実践を試みるために「実習科目」を配置する。
- ④ 理論的考察と実践の試みを総合するために「コース専門科目」を配置する。

2) 教育の実施体制

- ① 各学生に応じて1年次より主指導教員、副指導教員を配置し、適切な指導を行う。
- ② 教員は、学生との面談による履修指導を行い、研究指導実施報告を行う。
- ③ 定期的に、教育課程の編成・実施に関する課題分析、及びその改善について検討・実施する。
- ④ シラバスを明示し、授業科目の目標、内容、及び成績評価について履修学生に周知する。
- ⑤ 各学期末には学生による授業評価アンケートを実施し、その結果に応じて授業改善を行う。
- ⑥ 授業科目の関連や難易度を表現するコースナンバリングを行い、カリキュラム構造を明示する。

3) 教育の実施方法

- ① 授業科目の履修を容易にするために、適切なガイドライン（履修案内等）を提示する。
- ② 定期的に、教員は履修指導や実習指導を行う。
- ③ 必要な場合、教員はティーチング・ポートフォリオの教育理念と教育方法を学生に説明する。
- ④ 実習校・関係機関と協議し、履修学生の課題に応じた実習計画を作成し、個別の指導を行う。
- ⑤ 学修効果を高めるため、理論科目と実習科目の履修時期等を調整する。
- ⑥ 学生の希望に応じて、教育実践に関する研究論文作成の指導を行う。

4) 成績評価の方法

- ① 成績評価は、明示したシラバスに明示された基準に従って厳格に行う。
- ② 実習科目は実習校による評価を考慮しながら、実習報告書等を対象に評価を行う。
- ③ 2年間の実践研究の到達度を確認する実践研究報告書は、複数の教員によって評価する。

【入学者の受け入れに関する方針】

1) 求める学生像

学校教育学研究科は、現代的な学力の育成、多様な教育ニーズへの対応、今日的な学校運営の充実という3つの教育課題に応じて、高度な専門性と実践的な指導力を備えた教員の養成を目的としている。そのため、本研究科が求める学生像は以下の通りである。

(学部卒業生等)

- ① 学校教育に関する基礎的な知識・理解を有する者
- ② 学校教育の現場が直面している諸問題について課題意識を有する者
- ③ 将来、地域の学校改革を担うリーダーとして必要な専門的知識や技術等の修得を目指す者

(現職教員等)

- ① 学校教育に関する基礎的な知識・理解を確かに有する者
- ② 学校教育の現場が直面している諸問題について明確な課題意識を有する者
- ③ 地域の学校変革を担うリーダーに必要な理論の修得、及び実践力の形成を目指す者

2) 入学者選抜の基本方針

① 一般入試 (学部卒業生等)

入学者選抜においては、現代的な学力の育成、多様な教育ニーズへの対応、今日的な学校運営の充実という3領域のいずれかに該当する研究計画書の提出を求める。また、3領域を横断して考察する論述の課題を課すとともに、口述試験と面接等を行う。これらを総合し、志望動機と学修意欲、及び教員に求められる基礎的な資質・能力の形成を判定する。

② 現職教員等入試

入学者選抜においては、現代的な学力の育成、多様な教育ニーズへの対応、今日的な学校運営の充実という領域のいずれかに該当する研究計画書の提出を求める。また、3領域を横断して考察する論述の課題を課すとともに、口述試験と面接等を行う。これらを総合し、志望動機と学修意欲、及びリーダー教員の候補者に求められる一定水準以上の資質・能力の形成を判定する。

学校教育学研究科で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象
知識・理解・思考・判断	大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力	筆記試験によって、本研究科で学ぶために必要な基礎学力を評価します。	一般入試 現職教員等入試	教育実践探究専攻
		口述試験によって、本研究科で学ぶために必要な基礎学力を評価します。		
		成績証明書によって、本研究科で学ぶために必要な基礎学力を評価します。		
	専門分野における学習能力や研究遂行能力	筆記試験によって、本研究科で学ぶために必要な専門分野における学習能力や研究遂行能力を評価します。		
		口述試験によって、本研究科で学ぶために必要な専門分野における学習能力や研究遂行能力を評価します。		
		教育実践研究業績書・活動報告書及び実践研究計画書によって、本研究科で学ぶために必要な専門分野における学習能力や研究遂行能力を評価します。		
興味・関心・態度	志望専攻で学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲	志望理由書及び口述試験によって、志望専攻で学ぶ動機、意欲、経験等を評価します。		